

炉端の会 今月のコラム

「日本民家園」へ

お出掛けになりませんか！

現在、国・県・市の文化財指定を受けている建物をはじめとして、二十五の古民家が沖縄・関東・東北・白川・五箇山、その他から集まっている「野外博物館」です。建築年代は、古く、百数十年から三百年以上。他に、旧原家のように明治から大正へ二十二年の歳月をかけて建てられた家等、じっくり見て廻ると二時間以上はかかります。

春、生田丘陵の芽吹き時、なんとなく藁屋根も芽を吹き出しそうな園内。櫻が満開になると、訪れる人もウキウキとしてきます。

夏、暑さで路の葉が萎れているのに、高い藁屋根の家の中はひんやりと涼しく、生き返った気分になります。

秋、園内の紅葉にも名所があります。合掌造りの旧江向家付近は、それは美しい風景になり、わざわざ遠方へ紅葉見物に行く必要がないくらいです。

冬、雪の民家園。朝早くカメラを担いだ人達が訪れ、昼頃にはとけてしまいう雪化粧を撮り続けています。

四季折々に浮かぶ古民家の姿は、なんとも心が落ち着きます。

園内では、説明を聞きましょう。薬屋、油屋、馬宿、板葺き石置き屋根、見事に組まれた梁の美しい造形、地元川崎の家、大きな南部の曲屋、高はつぼうのついた農家、長い階段を登った所には歌舞伎舞台もあります。

囲炉裏から漂う煙の匂いに誘われて「日本民家園」へお出掛けになりませんか。

(土曜日 1G 清水年子)